

日本共産党市議団の一般質問

鶴川駅北口バスロータリー工事 利用者の立場で対応を



田中美穂市議

田中美穂市議は、鶴川駅の北口交通広場の工事に対して市民から寄せられた声とその対応を求めて質問。道路部長が「撤去された横断歩道の再設置、鶴川団地行きバス停の屋根の要望が多く寄せられた。横断歩道については、歩道橋整備の前倒しの計画、バス停の屋根は仮設置で対応した」と答弁。田中市議は丁寧な周知と説明会の実施を求めました。金井中と薬師中の学校統廃合見直しを求めた質問に対して学校教育部長が、検討委員会の設置は延期すると答弁しました。

田中市議は丁寧な周知と説明会の実施を求めました。

3分の2を廃校にする計画は中止を



細野りょう子市議

町田市の統廃合計画は「統合する学校」を両方廃校にして新しい学校を作ることになります。これまでの歴史や校歌が変えられる学校は全部で42校、3分の2の学校を無くす計画はあまりに乱暴で、見直すべきです。市は適正に進めていると答弁。心身障がい者通院交通費助成を一般にも使えるタクシー補助への拡充について、都内で3市を除き実施していることを示しながら求めました。担当部長が「研究する」と答弁しました。

中学生全員対象の英語スピーキングテストについて、音が漏れる、事前に質問が漏れるなど、公正公平ではないこと、申請手続きの学校の負担など、現場の声を聞いて都教委に声をあげるように求めました。

公的施設にクーリングシェルターを



佐々木とも子市議

佐々木とも子市議は、熱中症対策として公的施設へのクーリングシェルター(涼み処)開設を求め質問。保健所長が、熱中症特別警戒情報の発令に備えて、できるだけ早く指定する準備を進めていると答弁。また、家族が亡くなった後の行政手続きの「ワンストップ窓口」の設置については、市民部長が「考えていない」としながら、現在のチェックリストは他市の事例を参考に「おくやみハンドブック」の作成を進めていると答えました。



住民参加のまちづくりを!



殿村健一市議

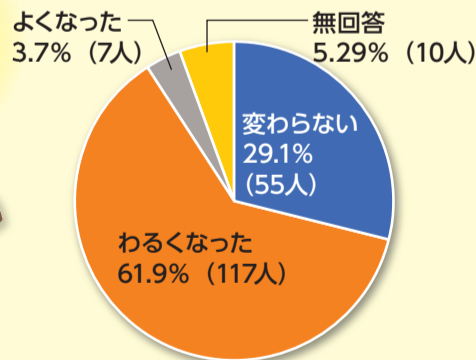
殿村健一市議は、町田駅周辺開発推進計画(案)に対する市民意見の内容を質問しました。都市づくり部長は、森野住宅住民から「住み続けたい」という声があったこと。6月下旬に、住民等を対象にした説明会を開催すると答弁(後日、多くの住民が参加)。また、都市計画法の趣旨に基づいた住民参加のまちづくりを要求しました。芹ヶ谷公園パークミュージアム「一体的整備」計画の(仮称)国際工芸美術館整備工事の「CM業務結果報告書」の内容をたどりました。営繕担当部長は、今年度のCM業務で設計や工事費を再検討し、24年8月中の本工事の公告実施に向けた準備をすると答弁しました。「計画」は白紙撤回すべきです。

市民アンケート結果 2024.2~3月

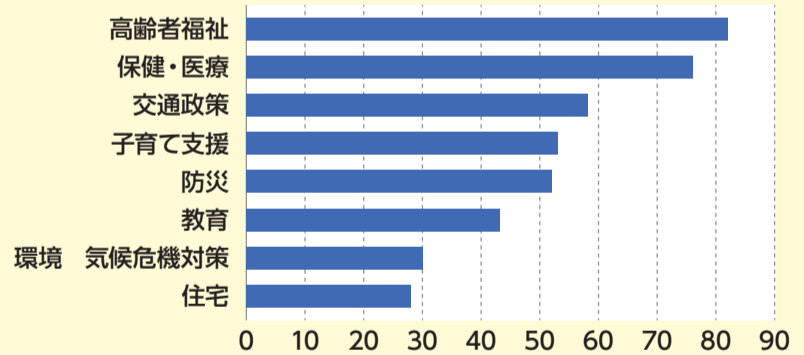
日本共産党市議団として、2月~3月に市民アンケートを実施しました。188名の方からご回答をいただきました。ご協力ありがとうございました。寄せられた意見を政策提言に活かしていきます。



以前とくらべて くらははどうですか

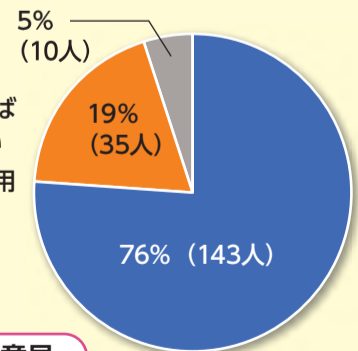


町田市に力を入れて取り組んでほしいこと(複数選択可)



シルバーパスの制度について

- 乗降のどちらかが東京都内であればパスを利用できるようにしてほしい
- 乗降とも東京都内でなければ利用できないというので構わない
- 無回答



学校統廃合の計画に対しての主な意見

- ◇少子高齢化の現代、多くの学校が学生数の減少になっているが、今こそ逆手に取って少人数教育の実施を進めるべき。子育てや教育に予算を投入したくないという町田市の姿勢そのものが問題。
- ◇通学が遠くなるのはかわいそう。
- ◇こんなに学校を減らすとは思ってなかった。減らしすぎではないか!
- ◇統廃合により、学校と家との距離が遠くなる事で不登校が進むと思います。

無料法律相談

どうぞ
お気軽に

8月28日(水)

9月11日(水)・25日(水) 午後2時~5時

要予約 ☎042-723-6312まで

町田市役所3階
共産党派室

※会場が変更される場合がありますので、必ずご予約ください。

生活相談はいつでもお受けします
042-724-4030 日本共産党派室